

令和5年度

文化賞



受賞

おめでとうございます

小松市文化賞は、昭和39年に創設され、芸術、産業、経済など幅広く文化の発展に尽くし、活躍された人に贈られます。

問い合わせ

広報秘書課 ☎24・8000



小松の産業・
文化発展に尽力

塚本 幹雄 さん（軽海町）
つかもと みきお
Comany株式会社代表取締役会長執行役員
成松会 会長



小松の教育・
文化発展に尽力

長野 裕 さん（打越町）
ながの ゆたか
小松能楽会 会長

昭和48年、(株)コマツパーティション工業(現コマニー(株))へ入社された塚本さん。37歳の若さで社長に就任してからは、会社を全国で高く評価されるトップ企業に成長させました。その発展を通して本市の産業界を牽引し、ものづくりのまち小松の発展に大きく貢献されました。また、日本パーティション工業会理事長など業界の要職を歴任され、地域産業はもとより業界の総合的な発展に多大な貢献をされています。自社の2030ビジョンを現役で達成したいと、今もなお精力的に業務に邁進されています。

学友に誘われたことをきっかけに能に魅せられた長野さんは、名だたる能楽師に師事し技術を極められました。昭和60年には職場の謡曲サークルを指導。平成8年に伯宝会を引き継ぎ、現在は小松能楽会会長として数多くの人々に能を学ぶ場を提供してこられました。

一方、社長就任前から小松青年会議所の活動にも意欲的に取り組まれました。今ではお旅まつりの代名詞となった曳山曳揃えの実現や、勸進帳小松・八百年祭の成功を支え、歌舞伎の名門成田屋と小松市を結ぶ成松会の会長として、歌舞伎のまち小松の発展に大きな役目を果たされています。市川家と成松会の確固たるつながりは十三代目團十郎丈にも受け継がれ、石川県小松市團十郎芸術劇場うらへの名称変更や團十郎丈の名誉館長就任へと結びつきました。長く深い成松会の活動を通して、歌舞伎のまち小松の振興にも大きく寄与されています。

これらの活動が認められ、9月には、次世代の日本文化を担う若者の古典文化活動を顕彰する「古典の日文化基金未来賞」を受賞されました。

今日まで能楽を続けることができたのは家族の理解と支えがあったからこそと感謝の気持ちを忘れない長野さん。謡・囃子・舞の三者が調和した最高の瞬間を味わってもらったため、また、650年もの年月を経てきた芸能を絶やすことなく後世に伝えるために、83歳の現在も精力的に後継者育成に尽力され、本市の文化・教育の振興と発展に大きく寄与されています。